



【先週 10月11日～10月17日の外食の出来事】

■牛丼「吉野家」既存店・全店ともに売上高のマイナス成長が続く(2020年9月)

吉野家HDの2020年9月既存店売上高は、対前年同月比90.8%。内訳は客数87.6%、客単価103.7%で、客単価のプラスで客数のマイナスをカバーできずマイナス成長となりました。全店売上高も92.9%。

■カレー「ココイチ」の壺番屋、売上高が7カ月連続マイナス成長

壺番屋の2020年9月既存店売上高は、対前年同月比89.2%。内訳は客数86.5%、客単価103.0%で、客単価のプラスで客数のマイナスをカバーできずマイナス成長となりました。また全店売上高は89.0%。

■ハイディ日高、上半期(2020年3月～8月)の業績 減収赤字

2021年2月期 第2四半期(2020年3月～8月)の業績を発表。売上高141億900万円(対前年同期比33.1%減)、営業損失20億7000万円(-)、経常損失20億6100万円(-)、四半期純損失17億1400万円(-)であった。

■「昭和食堂」海帆、6億円をファンドが増資 4億は返済に

マザーズ上場の株式会社海帆が、債務超過による上場廃止を避けるため、6億3千万円の第三者割当増資を行う。出資するのはジャパンルネッサンス投資事業組合。出資後には海帆の株式65.86%を所有する筆頭株主に。

■サイゼリヤ、今期36億円の当期損失見込み 2期連続の赤字に

サイゼリヤは14日、2021年8月期(今期)の連結業績について、当期損益が36億円の赤字になる見通しだと発表した。新型コロナウイルス感染症の終息が見通せず、厳しい状況が続くことから、2期連続の最終赤字となる。

■コメダ、上場来初の減益 今期最終34%減、春先の休業・営業短縮が打撃

コメダホールディングスは14日、2021年2月期の連結純利益(国際会計基準)が前期比34%減の35億円になりそうだと発表した。新型コロナウイルスの感染拡大で春先に店舗の休業や営業時間を一部短縮したことが響く。

■リンガーハット、3～5月期は17億円の最終赤字

2020年3～5月期の連結決算は、最終損益が17億円の赤字(前年同期は3億1200万円の黒字)だった。新型コロナウイルスによる休業や時短営業で客数が減少し、同期間では過去最大の赤字となった。

■クリレスHDの3～8月、最終赤字90億円 店舗の減損響く

2020年3～8月期の連結決算(国際会計基準)は、最終損益が90億円の赤字(前年同期は24億円の黒字)だった。同期間として初の最終赤字になる。新型コロナウイルスの感染予防のための営業自粛が響いた。

■銚子丸、第1四半期(2020年5月16日～8月15日)の業績 減収増益

2021年5月期 第1四半期の業績は売上高43億5100万円(対前年同期比11.4%減)、営業利益2億2400万円(同2.2%増)、経常利益2億3900万円(同1.6%増)、四半期純利益9100万円(同21.9%減)であった。